

ほい1組 6月30日(火)

だんごむし観察中

お部屋で観察中のだんごむし。園庭へ行くと「一緒にだんごむしさがそ～」とお友だちや保育者を誘ってだんごむし探し。「だんごむしおった～」「おおきいのみつけた～」と嬉しそうに自分の腕に乗せて観察している姿も見られます。捕まえたのがあまり元気がなく動かなかったら「おなかすいとるんじゃない」「たべるものさがしてくる」と食べ物を探しに行っています。

登園してきて「だんごむし見たい」とお部屋にあるだんごむしの本を虫かごの横に置いて観察しています。ある日、だんごむしを見ていた子どもが「あかちゃんおる」というので見てみると白くて小さいだんごむしが沢山産まれてました。



おった～

ちいさいだんごむしおった～

脱皮の途中も見ることができ、だんごむしの本で見て覚えていたのか「だっぴしとる」と真剣に覗き込んで様子を見ていました。脱皮した皮を食べているのを見て「いたそう」という子に対し、「たべてもだいじょうぶやよ」と本に書いてあったことを覚えて言う子もいました。



脱皮しているのをジッと観察中

だんごむしへの興味から、「なに食べるのかな～」と言い自分たちで絵本を見ながら「人参たべるんやって～」「石置いてある」などとお友だちと発見を共有しながら観察するのを楽しんでいる姿がみられました。

ねらい

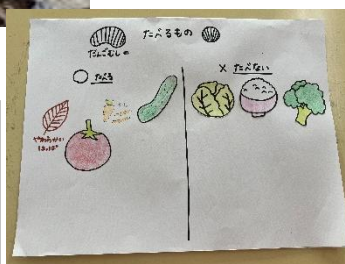
身近な生き物に興味を持ち、友だちや保育者と一緒に観察や発見を楽しむ。

育ち

観察を通して、みんなで「見つける」「考える」という経験につながった。

「だんごむしは何をたべるかな？」と子どもたちに問いかけると、「はっぱ」「きゅうり」「トマト」「ごはん」「ブロッコリー」「オレンジ」「人参」などと沢山の食べものが出ました。その日以降、1つずつ給食室にもらいに行きあげて観察してみました。観察していると「(きゅうり)たべてある～」「ちいさくなつとる」「(ブロッコリー)たべてない」など口々に言っていました。

そこで、食べた物、食べなかった物を表にしてみると、「ブロッコリーたべんかったね」と少し残念そうでしたが、人参の皮やきゅうりは食べてあって、「なくなつとる」「たべてある」と嬉しそうに見ていました。



たべとるね



きゅうりたべた～
こっち



机に虫かごを置くと周りを囲んで観察中

子どもたちの【知りたい】という気持ちを大切にしながら、今後も身近な生き物との関わりを通して、発見を共有できる環境を整えていきたいと思います。